

このまちの100年

「栄」

名古屋城の城下町の南端に位置した栄地区。明治期に広小路通が名古屋駅方面に延伸されると、多くの店が通り沿いに移転し、百貨店も進出するなど大きく発展しました。現在も名古屋を代表する商業・娯楽の中心地となっています。



大正期

名古屋初のデパートとなった、いとう呉服店（現在の松坂屋）。現在のSKYLEの場所にあった



大正後期～昭和前期

大正14年、いとう呉服店は松坂屋へ改称し現在地へ移転した



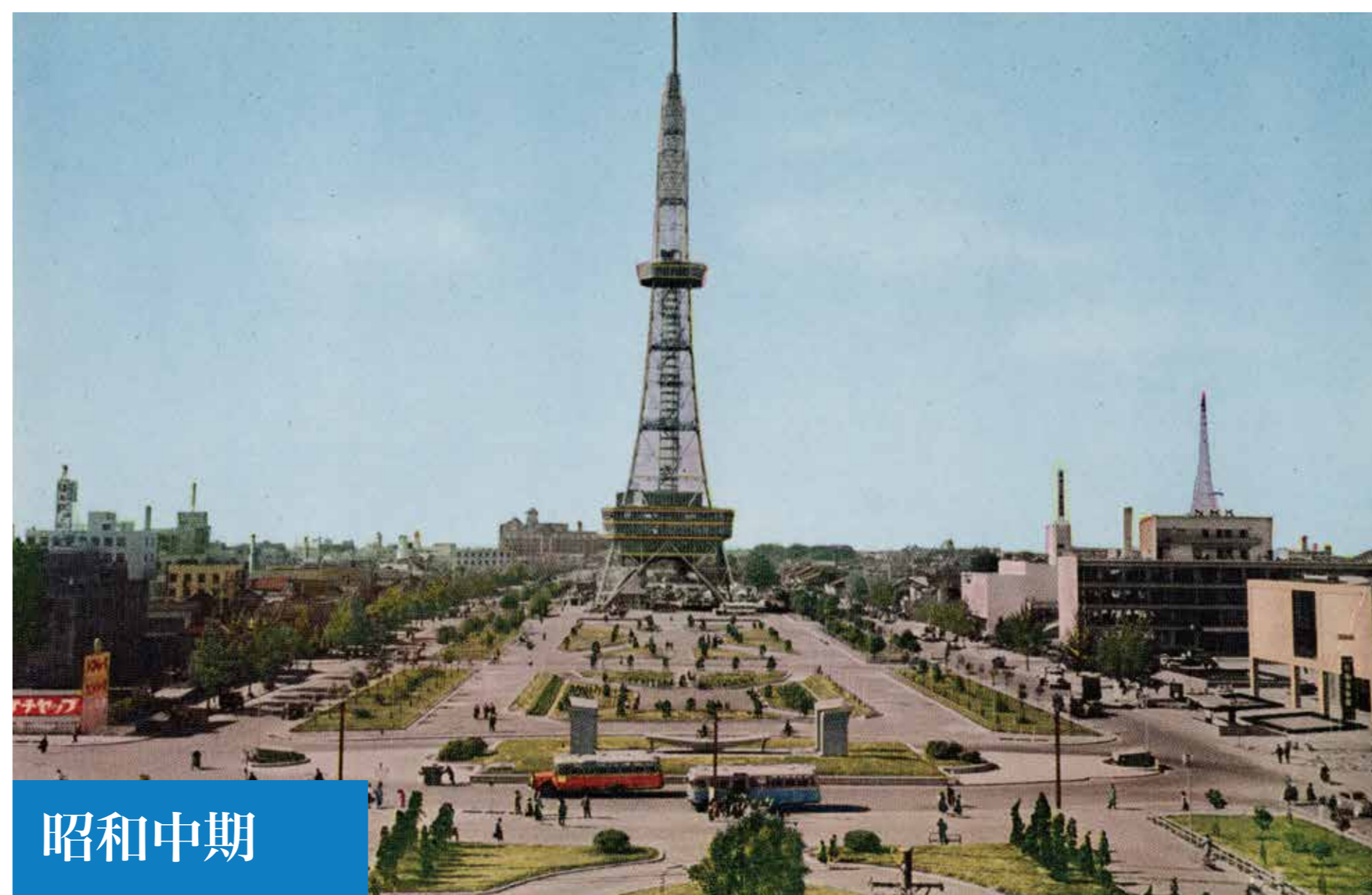
昭和前期

広小路通は商業地として発展、行き交う様子は「広ブラ」と称された



昭和前期

現在の広小路本町交差点は当時の名古屋の道路の中心地だった



昭和中期

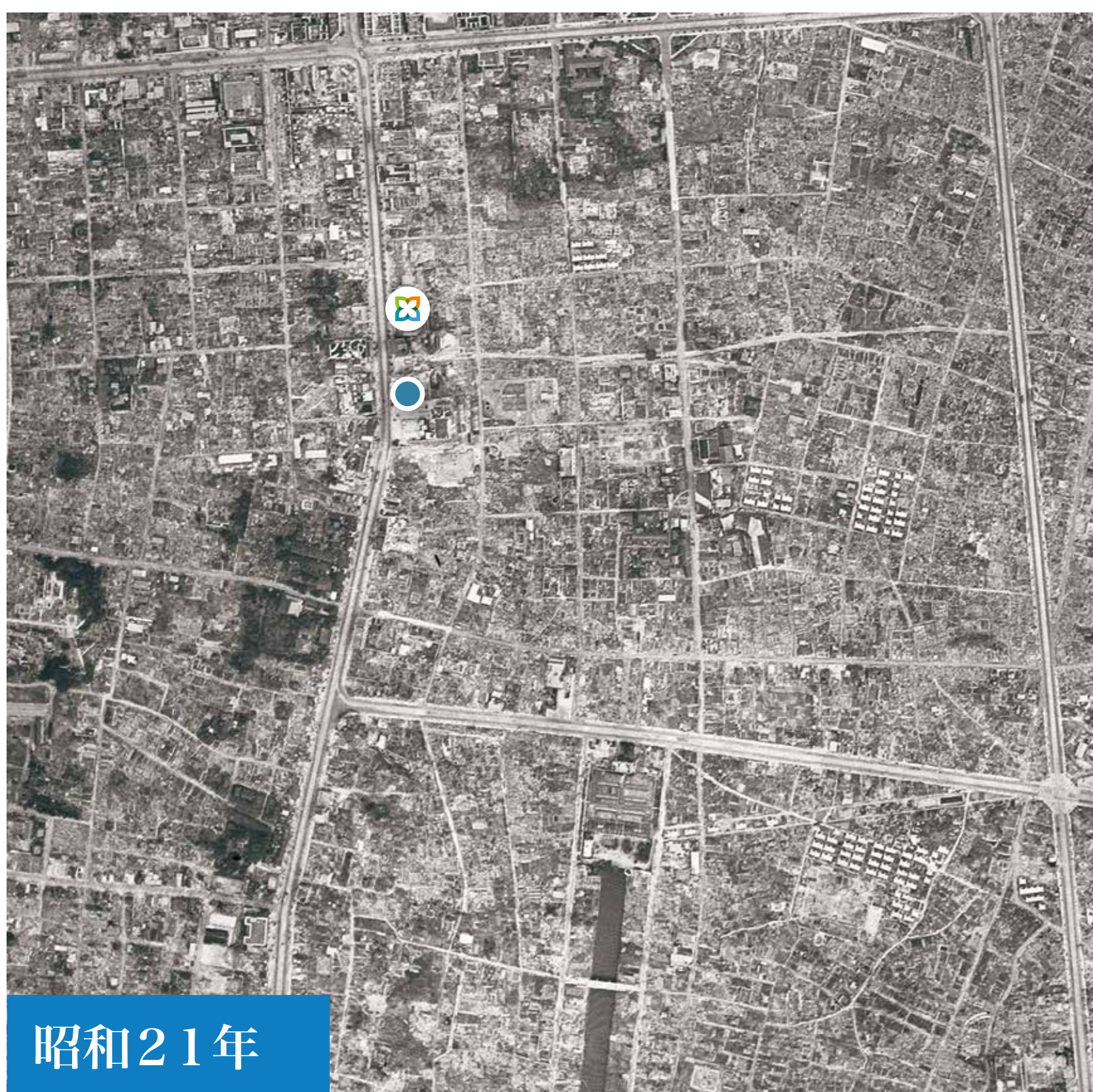
戦後の復興都市計画の目玉として造られた、久屋大通



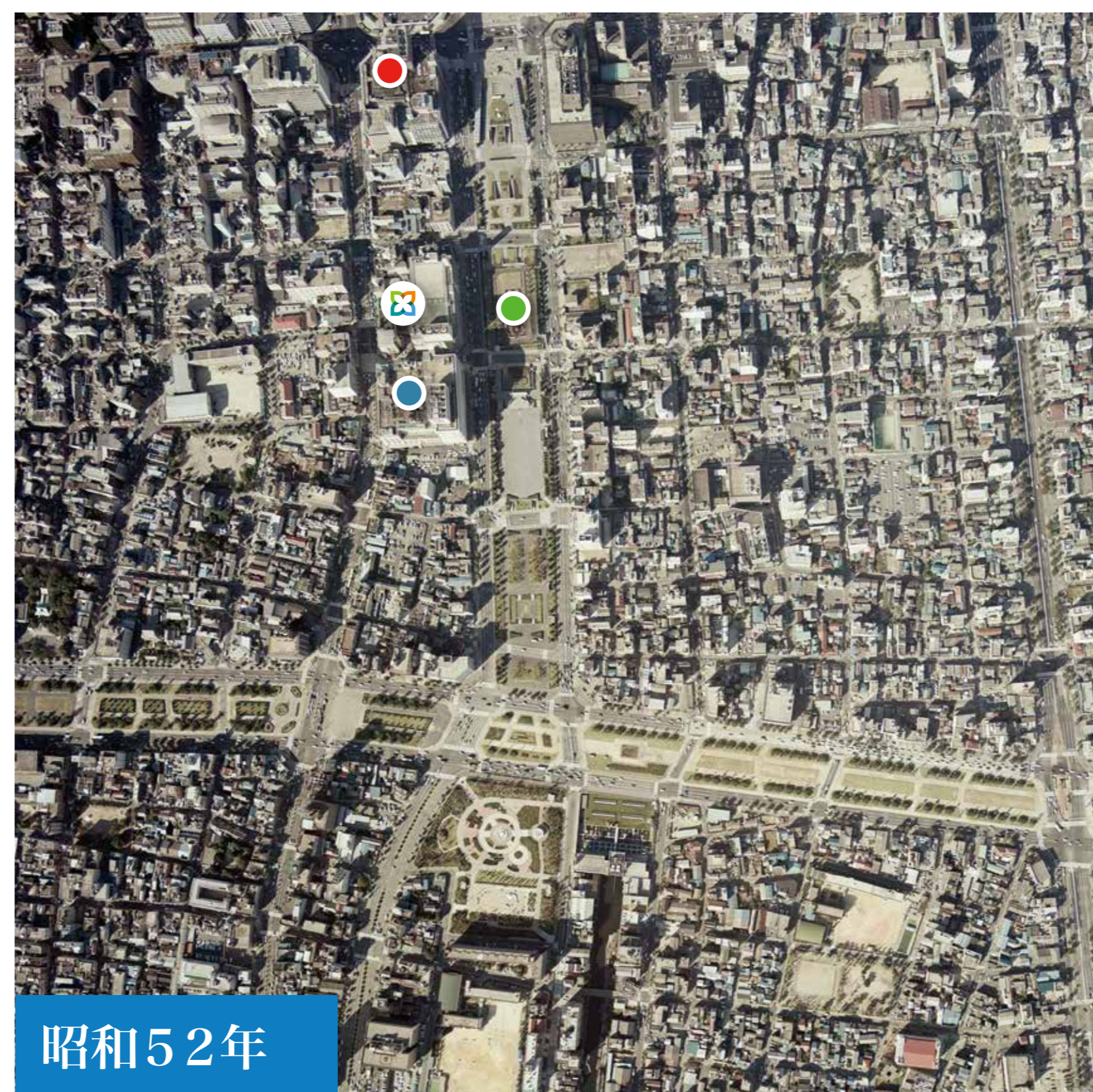
昭和32年頃

昭和32年、地下鉄1号線（現在の東山線）の開通と同時に開業した、地下鉄栄町名店街

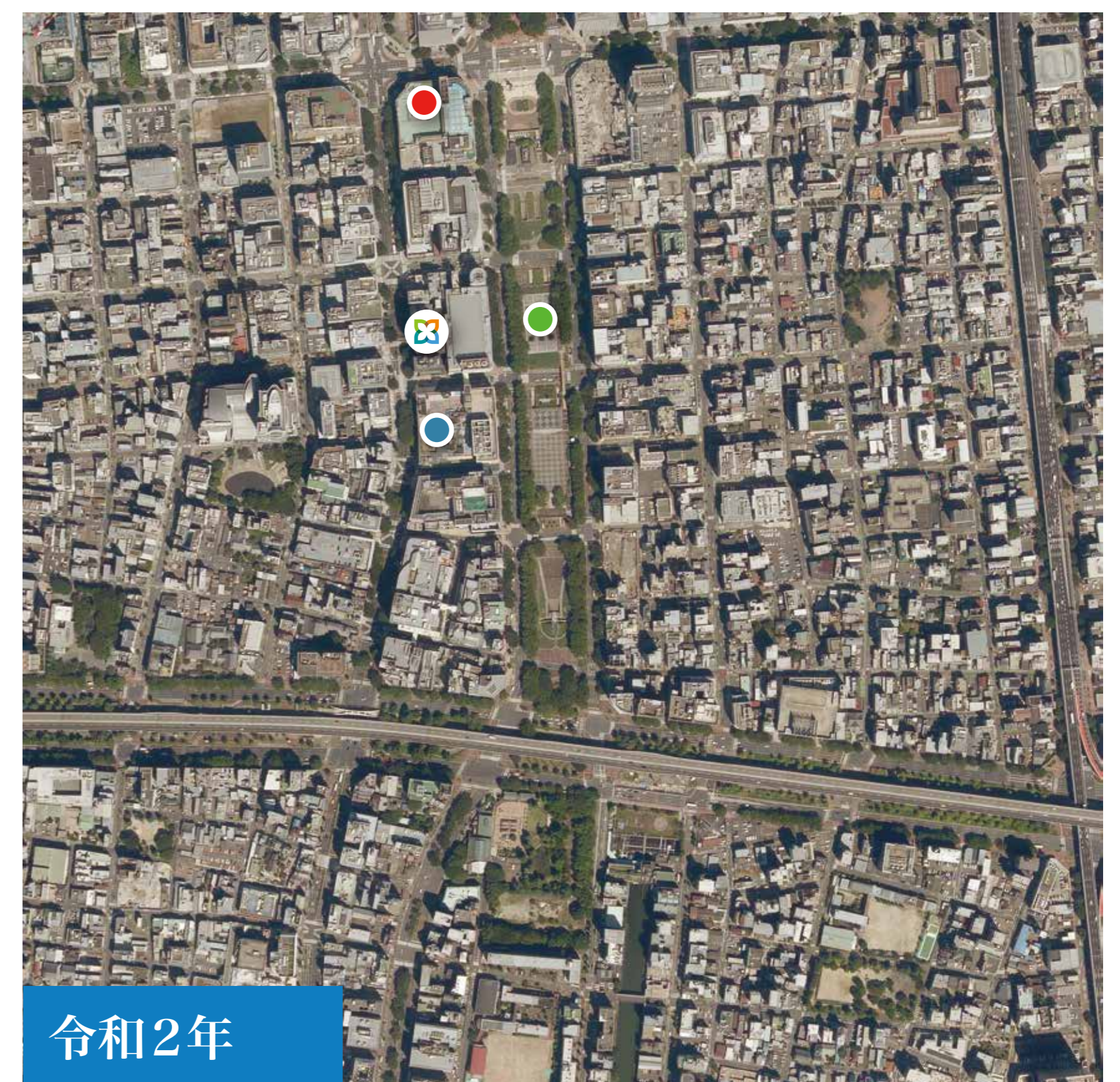
上空からみた栄エリア



昭和21年



昭和52年



令和2年

● : 松坂屋 名古屋店 ● : 久屋大通公園 ● : オリエンタル中村百貨店 / 名古屋栄三越

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ